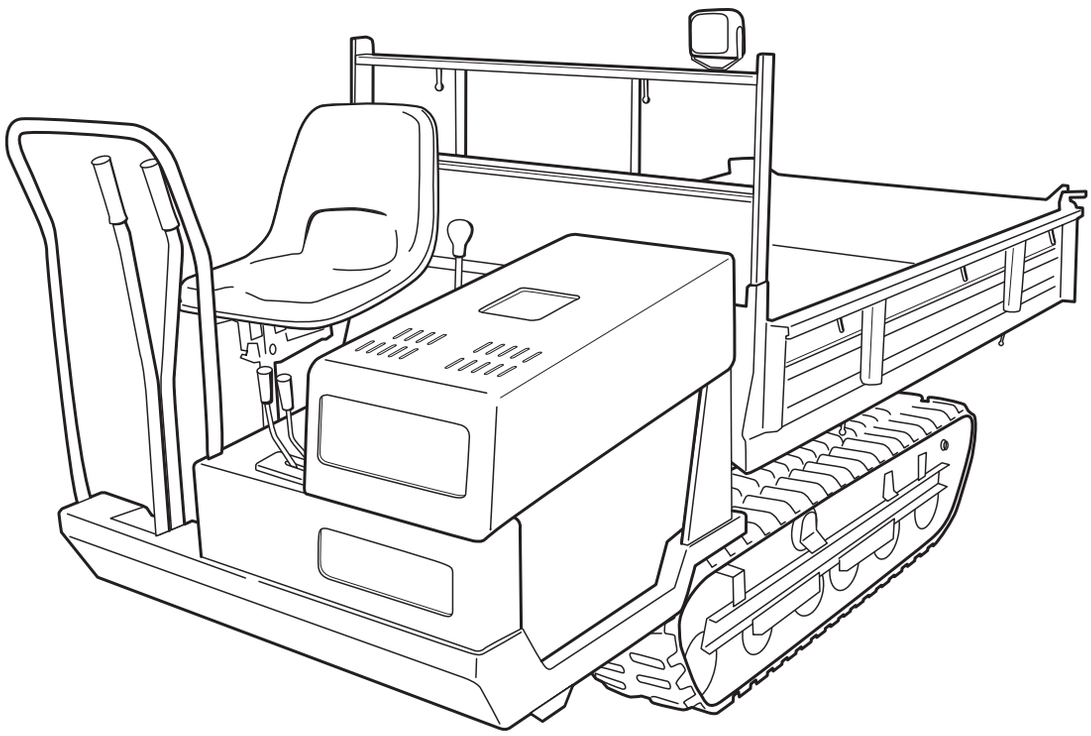
CANYCOM

# 小型運搬車
# BE813ディーゼル仕様

# 取扱説明書補足



**⚠ 警　告**

・本書を読んで理解するまでは、本製品の運転および保守・点検を行わないでください。
・本書は、本製品の運転または保守・点検を行う場合、いつでも参照できるように大切に保管してください。

3684 6121 000

株式会社 筑水キャニコム

〒839-1396　福岡県うきは市吉井町福益90-1
TEL (0943)75-2195（代）　FAX (0943)75-4396

# 株式会社 筑水キャニコム

http://www.canycom.co.jp/


■本社営業本部　TEL 0943(75)2195　FAX（75）4396
■東京国際センター　TEL 03(3552)6255　FAX (3552)6288
■東北センター　TEL 022(281)1255　FAX（281）3141
■関東センター　TEL 0270(63)8011　FAX（63）8012
■関西センター　TEL 0790(42)6031　FAX（42）6035
■中・四国センター　TEL 0824(34)5996　FAX（34）5997
■九州センター　TEL 0943(76)2583　FAX（75）5126


連絡先控え（販売店名）

本書の無断転載、複写を禁止します。

# ディーゼル仕様補足

## 本書について

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、取扱説明書に説明されていない本仕様の情報を提供することを目的とし作成しています。本製品をご使用になる前に必ず取扱説明書と本書を読み、理解された上で、正しい取り扱いをしてください。
また、エンジン取扱説明書もあわせてお読みください。
なお、本書ははじめて本製品を使用される方を対象として作成しています。

**⚠ 警　告**

- 本書と取扱説明書を読んで理解するまでは、本製品の運転および保守・点検を行わないでください。
- 本製品の運転操作および保守・点検を行う場合は、必ず取扱説明書と本書に従ってください。
- 本書はいつでも参照できるように大切に保管してください。

# ディーゼル仕様補足

## 内容

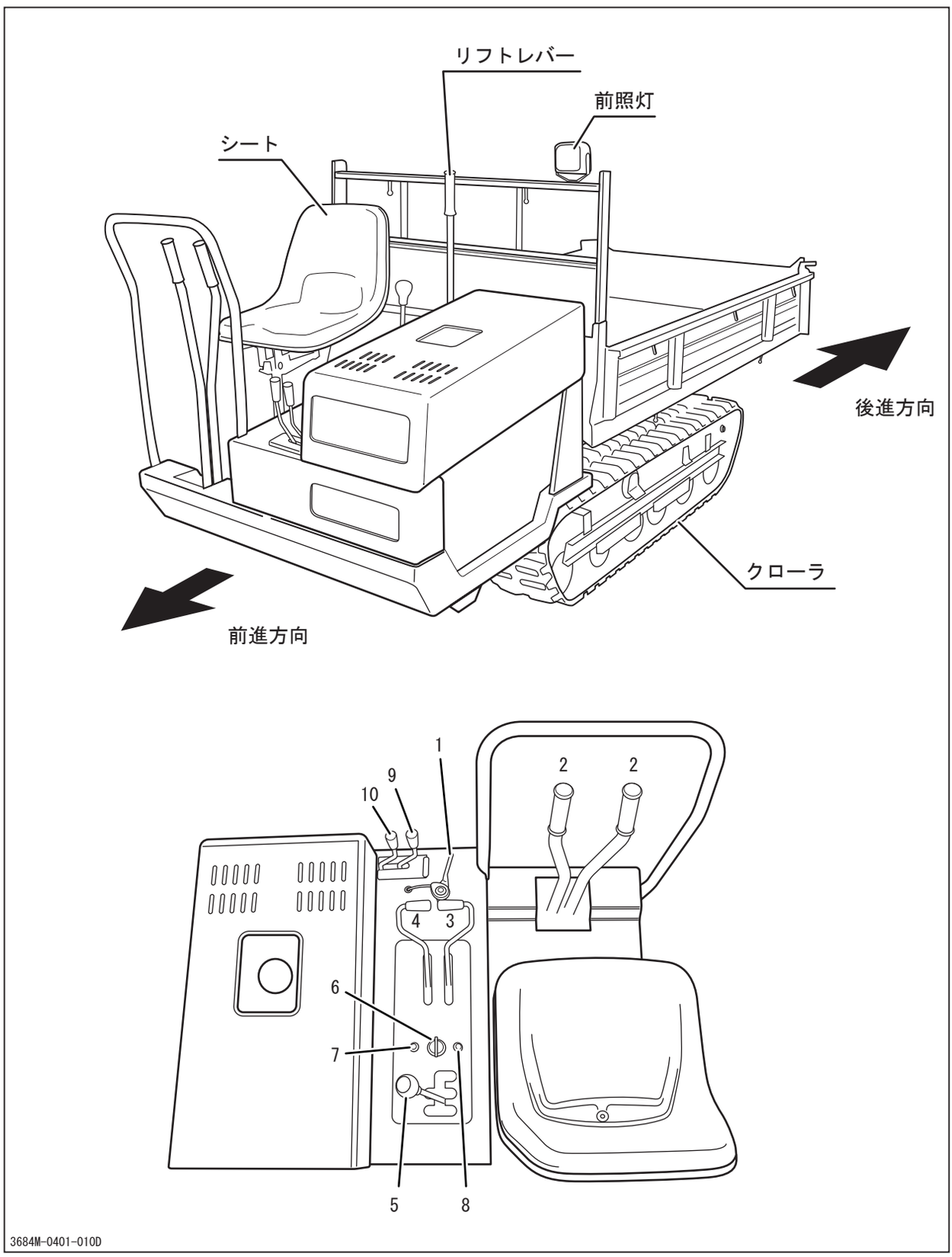
### 取扱説明書からの変更箇所

本仕様に関し取扱説明書と異なる箇所は次のとおりです。

| 取扱説明書<br>ペ　ー　ジ | 内　　容 | 参　　照　　箇　　所 |
|---|---|---|
| 8,9 | 各部の名称とはたらき | 本書3ページを参照。 |
| 10 | 5.1.　本製品の仕様「エンジン」の項目 | 本書5ページ及びエンジン取扱説明書9ページ**「3-1 機関要目表」**TF70V-Eの項を参照。 |
| 12 | 6.1. 始動前の準備 | 始業点検についてはエンジン取扱説明書30ページ**「6-2 定期点検一覧表」**ならびに取扱説明書23～25ページ**「7.1 定期点検表」（「原動機」以外の項目）**を参照。 |
| 12 | 6.1.1 燃料の給油 | エンジン取扱説明書20ページ**「4-2 燃料の給油」**を参照。 |
| 13 | 6.1.2 エンジンオイル量の点検と補給 | エンジン取扱説明書23,24ページ**「5-1 始業点検」**を参照。 |
| 14,15 | 6.2 始動のしかた | 本書6～8ページを参照。 |
| 18 | 6.4 停止のしかた | 本書9ページを参照。 |
| 22,23 | 7.1 定期点検表「原動機」の項目 | エンジン取扱説明書30ページ**「6-2 定期点検一覧表」**を参照。 |
| 26 | 7.2 給油、給水、給油、注油一覧表 | 本書11ページを参照。 |
| 26 | 7.3 消耗品（交換部品）一覧表 | 本書12ページを参照。 |
| 27 | 7.4 給油 | エンジン取扱説明書21ページ**「4-3 エンジンオイルの給油」**を参照。 |
| 32 | 7.7.1 エアクリーナエレメント | エンジン取扱説明書33ページ**「100時間毎の点検」(3)エアクリーナの点検**参照。 |
| 33 | 7.7.2 点火プラグ | ディーゼルエンジンのため適用なし。 |
| 33 | 7.7.3 フューエルコック（フューエルフィルタ） | エンジン取扱説明書35ページ**「300時間毎の点検」(1)燃料こし器の洗浄・交換**参照。 |
| 39 | 8.3 エンジン | エンジン取扱説明書28ページ**「5-5 長期保管時の手入れ」**参照。 |
| 40,41 | 9.1 不具合診断票 | ディーゼルエンジンのため、点火プラグとチョークに関する適用なし。また、合わせてエンジン取扱説明書37ページ**「7 故障と処置のしかた」**も参照のこと。 |

# ４．各部の名称とはたらき

## ４．１ 各部の名称



# ディーゼル仕様補足

1　**スロットルレバー** ‥‥‥‥‥エンジン回転数の増減を行います。

2　**サイドクラッチレバー** ‥‥‥方向を変えるときに使用します。車体はレバーを引いた側へ曲がります。また、左右のサイドクラッチレバーを同時に引くとその場で急停止します。

3　**走行クラッチレバー** ‥‥‥‥‥エンジンからトランスミッションへの動力の伝達を断続します。レバーを前方へ倒すと「入（発進）」の状態、後方へ倒すと「切（停止）」の状態になります。

4　**駐車ブレーキレバー** ‥‥‥‥‥車両を確実に駐車します。レバーを前方に倒すと「切（ブレーキ解除）」の状態、後方に倒すと「入（ブレーキ作動）」の状態になります。

5　**変速レバー** ‥‥‥‥‥‥‥‥‥走行速度の選択に使用します。変速は走行クラッチレバーを「切」にして、車体が停止した状態で行ってください。

6　**エンジンキースイッチ** ‥‥‥エンジンを始動、停止するときに使用します。

7　**グローランプ** ‥‥‥‥‥‥‥‥エンジンキースイッチを「グロー」に回すと点灯します。グローが完了すると消灯します。

8　**チャージランプ** ‥‥‥‥‥‥‥エンジンキースイッチを「入」にすると点灯します。エンジンを始動すると消灯します。充電回路に問題がある場合はエンジン運転中に点灯します。

9　**ダンプレバー** ‥‥‥‥‥‥‥‥荷台のダンプ操作を行うときに使用します。

10 **リフトレバー** ‥‥‥‥‥‥‥‥荷台のリフト操作を行うときに使用します。

# ディーゼル仕様補足

| 名称・型式 | | | BE813LD<br>リフト&ダンプ |
|---|---|---|---|
| エンジン | 名称 | | ヤンマー TF70V-E |
| | 形式 | | 横形水冷4サイクルディーゼル |
| | シリンダ(内径×行程) | mm | 78×80 |
| | 総排気量 | $cm^3$ (cc) | 382 (382) |
| | 最大出力 | kw(PS) | 5.5(7.5) |
| | 連続定格出力 | kw(PS) | 4.8 (6.5) |
| | 始動方式 | | セルフスタータ式 |
| | 使用燃料 | | ディーゼル軽油 |
| | 燃料消費率 | g/kW･h(g/PS･h) | 290(213) |
| | 燃料タンク容量 | ℓ | 6.8 |
| | 潤滑油容量 | ℓ | 0.6～1.4 |
| | 冷却水容量 | ℓ | 0.25～1.25 |
| | バッテリ形式 | | 46B24R |
| | バッテリ容量 | V/AH | 12/36 |
| | 燃焼方式 | | 球形過流室式 |

# ６．運転のしかた

## ６．２ 始動のしかた

**⚠ 警　告**

・エンジンの始動は必ず換気のよい場所で行ってください。排気ガスによる中毒のおそれがあります。

・始動は必ず乗車して行ってください。降車状態での始動は万一の場合に車両にひかれるおそれがあります。

・エンジンカバーの開閉は必ずエンジンが停止した状態で行なってください。

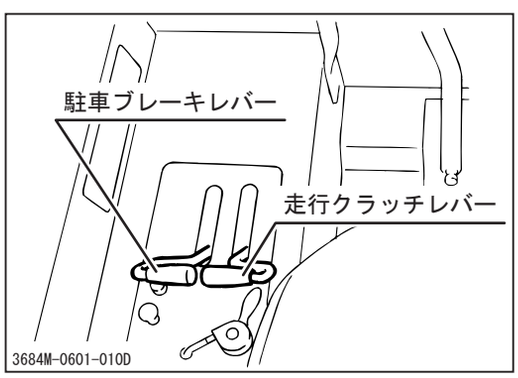
・エンジン停止直後はエンジン各部が高温になっており、やけどのおそれがあります。

**⚠ 注　意**

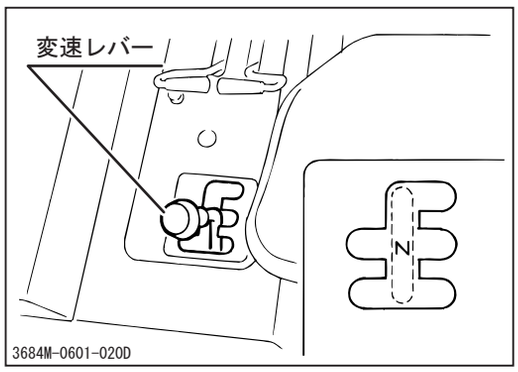
・エンジン回転中は、メインスイッチを「始動」に回さないでください。スタータモータおよびエンジン破損の原因となります。

・15秒以上スタータモータを回さないでください。始動しない場合はメインスイッチを「切」に戻し、1分以上休んでから再始動してください。

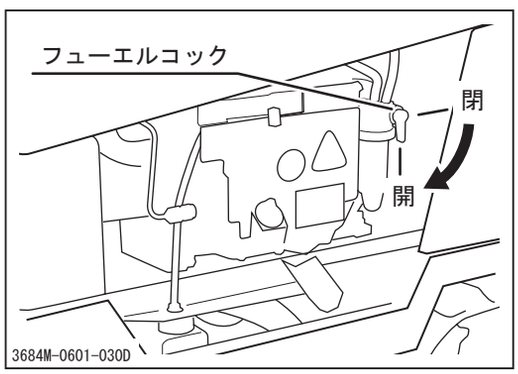
・冬期または寒冷地では十分に暖機運転を行ってください。十分に暖まらないうちに運転すると、エンジンや油圧機器の寿命を短くすることになります。



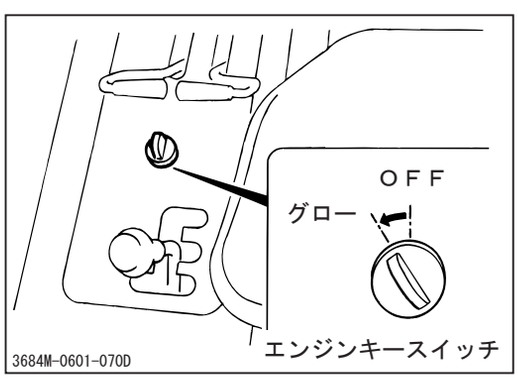

1. 走行クラッチレバーが「切」、駐車ブレーキレバーが「入」の位置にあることを確認します。




2. 変速レバーを「中立（ニュートラル）」の位置にします。



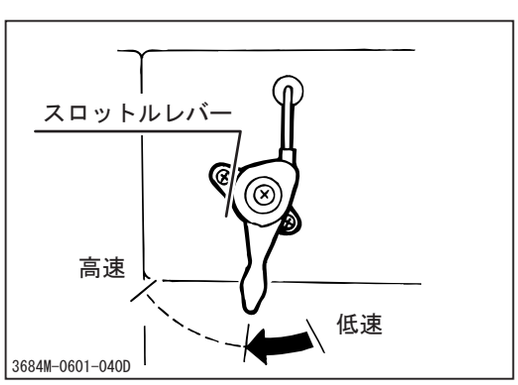

3. エンジンのフューエルコックを「開」の位置にします。



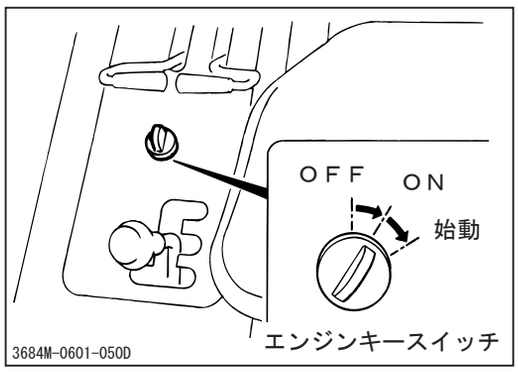

4. エンジンキースイッチにキーを差し込みます。
5. エンジンキースイッチを左のグロー位置に回し、グローランプが消灯するまで予熱します。

**アドバイス**

**・常温時、エンジンが暖まっている場合は予熱する必要はありません。**



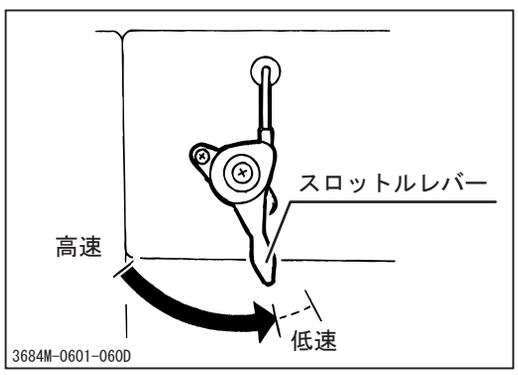

6. スロットルレバーを「低速」と「高速」の中間位置にします。




7. エンジンキースイッチを「始動」の位置まで回し、エンジンを始動します。エンジンが指導したら、キースイッチを離します。

**アドバイス**

**・頻繁な再始動はなるべく避け、エンジンを始動したら、しばらく連続運転をして、バッテリを充電するようにしてください。**




8. スロットルレバーを「低速」にします。
10. 約5分間、無負荷で暖機運転をします。

**アドバイス**

**・購入後、最初の40～50時間はならし運転期間として、過負荷をかけないように控えめな運転を行ってください。**

## ６．４ 停止のしかた

**⚠ 警　告**

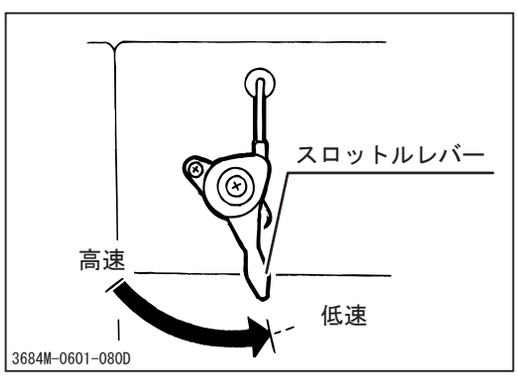
・急停止を行わないでください。運転者が振り落とされたり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあります。

・停止時は地盤の固い平坦地を選び、危険な場所には停止しないでください。

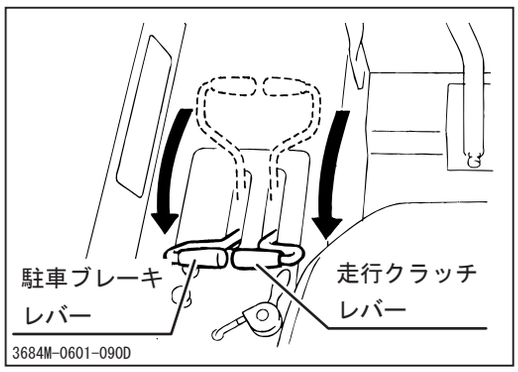
・緊急時は走行クラッチレバーと駐車ブレーキレバー、または左右のサイドクラッチレバーを同時に手前に引く事で急停車することができます。傾斜地では車体が浮き上がることがありますので十分注意してください。

**⚠ 注　意**

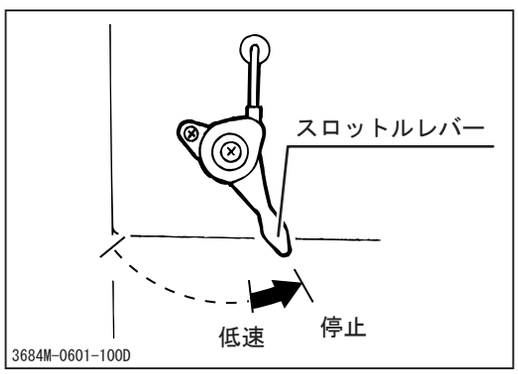
・本機のエンジンは、エンジンキースイッチでは停止できません。



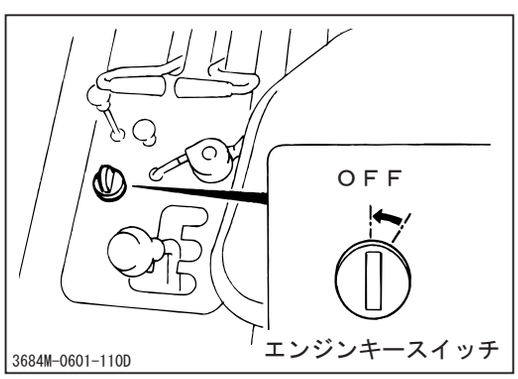

1. スロットルレバーを「低速」の位置にし、車体を減速します。




2. 走行クラッチレバーを「切」の位置にします。
3. 駐車ブレーキレバーを「入」の位置にします。
4. スロットルレバーが「低速」の状態で約5分間無負荷状態でエンジンを低速運転をします。




5. スロットルレバーを「停止」の位置にするとエンジンが停止します。
6. フューエルコックをOFFにします。




7. エンジンキースイッチを「停止（ＯＦＦ）」の位置に回しキーを抜き取ります。

## ７．２ 給油・給水一覧表

| 項　　目 | 補 給 （ 交 換 ） 時 期 | 推　　奨　　品 | 容　量 |
|---|---|---|---|
| 燃料 | 随時 | ディーゼル軽油 | 7.1ℓ |
| エンジンオイル | 補給　毎日点検し不足時に補給<br>交換　初回：20時間<br>2回目以降：100時間毎 | ディーゼルエンジンオイル<br>API分類　CD級以上<br>SAE分類　10W-30 | 1.4ℓ |
| トランスミッションオイル | 交換　初回：50時間<br>2回目以降：500時間毎 | ギヤオイル<br>API分類　GL4または5<br>SAE分類　80 | 2.0ℓ |
| パワーパッケージオイル | 交換　初回：50時間<br>2回目以降：100時間毎 | タービン油<br>ISO VG32 | 2.0ℓ |
| エンジン冷却水 | 補給　毎日点検し不足時に補給<br>交換　300時間毎 | ヤンマー不凍液ロイヤルフリーズ | 1.25ℓ |
| 転輪、支持転輪、遊動輪 | ６ヶ月毎<br>＊購入後、半年は給脂不要 | シャーシグリース | － |
| 各褶動部 | ６ヶ月毎<br>＊購入後、半年は注油不要 | ギヤオイル<br>API分類　GL4または5<br>SAE分類　80 | － |
| バッテリ液 | 補給　毎月点検し不足時に補給 | 蒸留水 | － |

## ７．３ 消耗部品（交換部品）一覧表

**⚠ 注 意**

・弊社製品のメンテナンスや部品交換を実施されるときは、必ず当社純正部品をご使用ください。純正部品以外をご使用になりますと、保証が適用されない場合もありますのでご注意ください。

| 項　　目 | 交　換　時　期 | 個　数 | 参　照 |
|---|---|---|---|
| **エンジン** | | | |
| エアクリーナエレメント | 点検：運転前<br>清掃：100時間毎<br>交換：600時間毎 | 1 | エンジン取扱説明書<br>33ページ |
| フューエルフィルタ | 初回20時間、以後100時間毎 | 1 | エンジン取扱説明書<br>35ページ |
| **走行装置** | | | |
| Vベルト | 不具合があれば交換 | 2種類 | 交換については販売店へ依頼してください。 |
| ブレーキライニング | 不具合があれば交換（セットで交換） | 2セット | 交換については販売店へ依頼してください |
| クローラ | 不具合があれば交換 | 2 | 交換については販売店へ依頼してください |
| **電装品** | | | |
| バッテリ | 不具合があれば交換 | 1 | 取扱説明書<br>38ページ |
| 上記以外で点検上交換が必要と思われる部品 | 販売店へお問い合わせください。 | － | － |

**アドバイス**

・ホース等のゴム製品は使用しなくても劣化しますので、2年毎に新品と交換してください。